

よしだ

文化会館だより

No. 96
2008. 4. 1

笠岡市人権・部落解放文化祭を開催

子どもたちが作った詩の中のついに、胸うつものがありました

～来場者の感想から～

2月29日と3月1日の2日間、「解放へのいとなみと人権意識の高まりを求めて」をテーマに、第21回笠岡市人権・部落解放文化祭が、吉田文化会館と吉田小学校体育館で開催され、2日間で約1300人が来場した両会場は大盛況となりました。

この文化祭は、文化会館及び集会所を拠点にした教育・文化活動を奨励するとともに、同和問題を中心にした市民啓発と人権文化の高揚に役立てることを目的に毎年開催しているものです。



▲この作品は、吉田文化会館に常設展示されています。

広がれ！ 熱い思い

吉田文化会館の展示のコーナーには、同和問題をはじめとする人権問題の解決への願いをこめた保育所、幼稚園、小・中学校、企業などの人権に関する学習成果の発表、各種講座からの作品、人権啓発パネルなど420点以上の作品が展示されました。このうち、人型のカードに自分の思いを綴り掲示していく作品には、来場者の方々から491件ものメッセージが寄せられました。メッセージは手を取り合うように貼られていき、最後には、思いが大きく広がっていく様子が表現されたすばらしい作品が完成しました（写真上）。

また、吉田小学校体育館では、市内の福祉施設・中学校からの作品や、笠岡市小・中学校人権啓発ポスター、人権の花運動の写真、ちぎり絵、人権フォトコンテスト入賞作品、男女共同参画の実現を目指す作品などが数多く展示されたほか、ふれあいの集い（写真下）、人権を考える集いなどの多彩な行事が開催されました。

ふれあいの集い

笠岡銭太鼓寿会のみなさんが、華やかに舞台を演出してくれました。

吉田小大正琴教室と琴瑛会のみなさんが、自慢の腕前を披露しました。



吉田保育所のみなさんの元気な演奏で幕を開けました。

吉田エコーのみなさんによるコーラス。ピアノのソロ演奏も圧巻でした。

山下裕絵さんと、楽しみながら自然に運動ができました。

よしだ文化会館だより ①